
ミリヒミリ

雑用長

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミリヒミリ

【Nコード】

N2098L

【作者名】

雑用長

【あらすじ】

皆さん、銃というものをご存じだろうか？
こんな語りだしから始まる物語。

序

皆さん、銃というものをご存じだろうか？

いや、ひっかけとかじゃなくて、トリガーを引くとハンマーとパウダーがぶつかってブレードが飛び出す（発射方法はこの限りではないけど、ここでは割愛。）射出機の事。

日本という銃に触れる機会の少ない国に居ても、この道具を知らない人はあんまり居ないだろう。

実際、銃は結構身近に存在する。

そんなこと無いって？ 試しに街中をぐるっと一回りしてみな。青い服着たおにいさんが腰にニューナンプ吊ってるだろうよ。

でも、実際に持った事ある人ってどれくらいいるだろうか？

いや、中には89式小銃を持って日々鍛錬に励んでいる人や、冬になると山に出かけて猛獣と格闘する人や、わしは若いころはサンパチを肩に担いでのう…って人や、ノリンコトカレフで…おっとこれはよしとこうか。シャレにならん。

ともかく、実際に触れたことある人は少ないと思う。

と言うか、ゆりかごから出て一度も銃に触れずに墓場まで向かう人の方が確実に多いだろう。賭けてもいい、何をもって言われるとちょっと困るけど。

これから始まる物語は、そんな日本という国の一般市民であったにも関わらず、偶然と必然が上手い具合に重なり合って銃を手にする事になってしまった哀れなる少年の物語。

まずは、そうだね、すべての元凶から…我が家族の不思議すぎる構成から話を始めようかな…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2098/>

ミリヒミリ

2010年10月8日12時43分発行